

学校教育における医薬品管理
マニュアル作成を
市民ク

問 アレルギー疾患を有する児童生徒への対応について

マニユアルはあるが、医療用医薬品の預かりは各学校の養護教諭がそれぞれに対応しており、使用方法や対応を間違えれば事故につながる。医薬品管理マニュアルの作成が必要と考えるが所見を問う。

答 保護者からの相談対応や主治医への確認事項などの詳細な点について、市でマニユアルを整備する必要があるとの考えから、現在作成に向けた取り組みを開始したところである。

教育 市立中学校における
校則決定プロセスの改善を
無所属

問 生徒たちが選挙で選んだメンバーが校則検討委員会に参加するなど、真に「生徒の声」を反映させるような校則決定プロセスが全ての市立中学校で実践されるよう、現在の仕組みを改善すべきと考えるが所見を問う。

答 今後、校則見直しの具体的な手続きの過程や生徒会役員が校則検討委員としての役割を担うことを生徒などに明示するなど、生徒の意見がより適切に反映される校則決定プロセスとなるよう学校に働きかけていく。

子ども 子どもたちの体力向上に
向けた新たな取り組みを
市民ク

問 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果では、福岡市は全国平均と比べ、男子は同程度だが女子はやや下回っている。子どもたちが健康を維持しながら体力を高めていくため

に、今後どう取り組むのか。今後、日々の子どもの状態が可視化できる教育データ連携基盤を構築することとしており、体力向上に向け一人一人の体力や健康等のデータを活用し、運動や健康への興味・関心を一層高める取り組みの充実に努めていく。

環境整備を
子ども 誰もが望む保育を受けられる
自民

問 保育所の入所調整については、それぞれの園児や世帯に寄り添い、迅速できめ細かに取り組んでほしい。誰もが望んでいる保育を受けられる環境整備について意気込みを問う。

答 幼児教育・保育ニーズも多様化しており世帯の状況に応じたサービスの充実を図っている。今後も施設ごとのサービスクラスを整理し、関係団体と協力し、情報発信のさらなる強化に努め、多様な選択肢の中から最適な施設を選択してもらえよう取り組む。

子ども 花ぞの保育園に併った
先確保について対応を問う
無所属

問 82年の歴史ある花ぞの保育園が今年度をもって休園する。新しい預け先を探さなければならぬ園児を持つ保護者に対して、どう対応しているのか。

答 休園に伴い転園が必要となる児童60名については、可能な限り保護者が希望する施設に入所できるよう、近隣の保育施設や幼稚園を訪問し協議を行うなど調整を行い、各施設や保護者の協力により、全員に転園先を案内できる見込みである。引き続き、責任を持って取り組んでいく。

商工業、観光、文化、
農林水産業、港の整備など
市独自の奨学金返還支援制度
の創設を
公明

問 人手不足で悩む中小企業の中には、従業員への奨学金返還支援制度を設けて他社との差別化を図り、人材確保につなげる企業も多いのではないかと考える。市独自の奨学金返還支援制度を創設すべきと考えるが所見を問う。

答 少子・高齢化が進展する中、人材の確保は困難な状況である。奨学金返還支援は、人材確保や定着、若者世代の経済的負担緩和にもつながることから、積極的に人材確保に取り組む中小企業の支援に向け検討を進めていく。

問 人口減少により国内市場の拡大が見込めない中、地域経済を活性化させていくためには、外国企業の立地促進とグローバル人材にも住みやすい環境づくりが必要と考えるが決意を問う。

答 今後とも、世界から選ばれたい福岡市を目指し、高付加価値なビジネスの集積や雇用創出を加速させるとともに、在住外国人の生活環境の充実などにも取り組み、地域経済の活性化による豊かな市民生活の実現に向けて取り組んでいく。



市外国人総合相談支援センターでの相談対応の様子
(在住外国人の生活環境充実の取り組み)

光 オーバーツーリズムによる
トイレ、ゴミ対策を問う
新風

問 舞鶴公園のトイレが汚くて園児が使えなかったと相談があった。外国人観光客が増加する中、トイレやゴミの問題は大きな社会課題である。市民生活と共生し、環境に配慮した福岡市の魅力を高める必要があるが所見を問う。

答 市民生活と調和した持続可能な観光振興に取り組むことが重要である。今後も外国人観光客がマナーを遵守するよう働きかけを強化し、来訪者の多い観光地はトイレなどが適切に利用されるよう対策にしっかりと取り組む。

保健衛生 多頭飼育猫の不妊去勢手術支援
から見える課題を問う
市民ク

問 猫の多頭飼育の背景には飼主の経済的困窮や社会的孤立等が複雑に絡み合っており、いち早く発見し多方面からの支援につなぐことが重要である。多頭飼育猫の不妊去勢手術支援から見えてきた課題を問う。

答 猫の多頭飼育は、適切に飼育管理できず周辺環境等に影響が生じる場合があり、飼い主へ飼育する猫の手術支援を行っている。課題には、飼い主への適正飼育の啓発や動物関係団体等と連携した支援体制の充実等がある。

交通 箱崎線と貝塚線の直通運転化
などについて市の姿勢を問う
自民

問 地下鉄箱崎線と西鉄貝塚線の直通運転化および西鉄井尻駅周辺連続立体交差化について、次期交通基本計画の下で、より費用対効果の高い事業手法をはじめ、どうすれば事業実施にこぎつけられるかをしっかりと検討する必要があると考えるが所見を問う。

答 中長期的な交通状況の変化や国制度の動向などを踏まえるとともに、利便性向上策なども含め、どのような取り組みができるかなど、国や交通事業者とも適宜相談しながら検討していく。

保健医療 地域における薬剤師・薬局の
役割と連携について問う
自民

問 今後さらに高齢単身世帯の増加が予想される。住み慣れた地域で暮らし続けるには地域包括ケアの仕組みの構築が必要であるが、地域における薬剤師・薬局について、今後期待する役割と連携について所見を問う。

答 これからの薬局はかかりつけ薬局として療養生活をサポート機能などの役割が期待される。地域で安心して医療や介護が受けられる社会の実現に向け、薬剤師会と連携し取り組んでいく。

PFASの問題点を問う
無所属

問 永遠の化学物質と呼ばれる有機フッ素化合物(PFAS)による水の汚染問題がNHKで何度も取り上げられている。PFASの中でもPFOSやPFOAの問題点を問う。

答 PFOSおよびPFOAには、分解されにくく蓄積しやすいなどの性質があるため、世界中に広く残留しているといわれている。そのため、環境や食物連鎖を通じて人の健康や動植物の生育に生育に影響を及ぼす可能性が指摘されている。

まちづくり 冷泉小学校跡地の活用について問う
無所属

問 冷泉小学校跡地の活用について、市として、アジア美術館や伝統工芸館の移転等の検討を十分行った上で、民間アイデアを募集すべきだったが所見を問う。

答 跡地活用については、災害時に避難所として利用できる施設や、歴史や伝統文化を展示体験できる観光拠点機能等の導入を検討しており、その実現手法等の検討の参考とするため、民間アイデア募集を行っている。引き続き、関係局と連携し、地域とも協議しながら検討を進めていく。

このほかの主な質問

- 自転車マナー啓発・自転車通行空間の整備について
- 同性カップル住民票の記載について
- 学校体育館における空調整備について
- 妊婦健康診査の助成券について
- 誰もが文化芸術に出会える街・感動都市福岡をめざして
- ケアマネージャーの不足について